



### 南の国本部町からの贈り物(5月11日)

今年も、南富良野町の児童・生徒にも沖縄県本部町の初夏を味わってもらおうと、5月12日の「アセローラの日」に合わせ、アセローラゼリーが町内各小・中学校に全児童生徒分が届けられ、給食に配膳されました。6年生は6月25日からの本部町訪問を楽しみに南の国に思いを馳せていました。本年度で22回目の児童派遣事業「南の国の真夏に挑む体験の旅」で町内6年生児童29名が6月25日から29日までの日程で沖縄県本部町を訪問します。

### 幾寅テレビ共同受信施設組合使命を終える(5月20日)

幾寅栄町地区周辺のテレビ難視聴を解消するため昭和48年に難視聴世帯で幾寅テレビ共同受信施設組合(山本豊組合長)を設立。組合員からの会費等により設備を維持管理し、39年間難視聴住宅にテレビ放送を配信してきましたが、地上デジタル放送にあわせ町が光ファイバーを活用した再送信を開始したことから、この度組合を解散し、清算金とはしごなどの備品を幾寅栄町町内会(伊藤健会長)に寄贈されました。



### 地域と連携した読み聞かせ(5月25日)

下金山小学校では今年度から、始業前の時間を活用し、月1回地域の方に読み手をお願いし、「読み聞かせ会」を行っています。第2回目は、地元下金山老人クラブ(長谷川英夫会長)の協力により、及川一男さん、永井愛子さん、大友傳さんによる民話「かちかち山」の紙芝居の朗読が行われました。丁寧な朗読に児童の皆さんは、食い入る様に耳を傾けていました。



### チャリティーフォーラム「夢を語ろうin南ふらの」(5月13日)

町民の有志で国際貢献を通じた文化交流で南富良野の活性化につなげようと結成した「グランドスラム(小野秀代表)」によるチャリティーフォーラム「夢を語ろうin南ふらの」が保健福祉センターみなくるで開催されました。イベントでは、「夢」をテーマに南富良野町出身の長田秀治さんと松本洋和さんの講演と南スーダン共和国出身の非政府組織(NGO)職員のデイビッド・ビンセントさんが14年間の内戦による難民生活の様子や思いを話されました。



### 串内牧場で入牧始まる(5月24日)

富良野広域連合公共串内牧場で牛の入牧が始まりました。今年は、1,143頭の放牧が予定されており、慎重な作業の中、町内をはじめ富良野沿線市町村や北広島市、清水町などから乳牛や肉牛が次々とトラックで運び込まれました。入牧した牛たちは、10月下旬までの約5ヵ月間、広さ約500ヘクタールの広大な放牧地の中で、のんびりと生活します。



このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係(☎52-2115)までお知らせください。

## カメラレポート CAMERA REPORT



### 100歳の祝い(4月23日)

特別養護老人ホーム一味園(上林康政施設長)に入所されている小薮なつ江さん(明治45年生)が満百歳を迎えられ、「百歳のお祝い」が同施設内で行われました。この日は、家族も駆けつけ、入所者や施設関係者が食堂に集まり、花束などのプレゼントを受け取り楽しいひと時を満喫していました。



### 通過車両へ観光PR 街路灯にペナント設置(4月27日)

地域貢献活動の一環として、今年も南富良野町建設業協会(川村和法会長)の皆さんにより、町内の国道沿いの街路灯などに観光PR用のペナントが取り付けられました。例年春の観光シーズンを前に、建設業協会の皆さんのご協力により幾寅地区の国道38号線と道々沿いに、映画「鉄道員」の描かれたペナントと、「なんぷエゾカツカレー」と書かれたペナントが設置されています。また、5月22日には、金山地区と下金山地区の国道237号線沿いに、今年度新たに建設業協会で作製した、「花人街道のロゴ」と「カヌーの絵」が描かれた真新しいペナントが設置され、それぞれ通過するドライバーなどに向けた観光PRの一翼を担っています。

### わかさぎの卵放流(4月29日)

かなやま湖の冬の風物詩であるわかさぎ釣りの資源の確保を目的として、今年もかなやま湖に流入する河川に6千万粒のわかさぎの卵を放流しました。わかさぎは、1ヶ月程度でふ化し、来年の冬には成魚となります。



### 模擬火災訓練の実施(4月27日)

春の火災予防運動の一環として、南富良野支署と消防団第1分団の合同による模擬火災訓練が、南富良野からまつ園前において行なわれました。緊急出動と放水や救助訓練などが本番さながらに行なわれ、日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮していました。

